

2024年度「自立援助ホーム支援助成」事業実施報告書

団体名 NPO 法人自立援助ホームこんぴら鞘橋荘

ホーム名 こんぴら鞘橋荘

代表者・役職名 氏名 施設長 白川勝

▼報告書の扱い、および記入にあたっての注意点

この報告書(精算報告書以外)は、ホームページなどで公開する予定ですので、広く読まれることを想定してご記入ください。また、編集段階で、表記・表現等を事務局で編集する場合がありますので、あらかじめご了承ください。語尾の表現は「です・ます」調でお願いします。報告書に掲載するため活動の内容がよくわかる写真(2枚程度。写真の肖像権問題がないものの提出をお願い致します)を添付して下さい。

1. 助成事業の名称

いろんな料理を実践！味わう！ホームの食事を豊かにする調理器具の購入。

2. 自立援助ホームの概要(創設の経緯、創設時期=法人で、法人化前に任意団体での活動がある場合、その段階からご記入ください。会員数など。180文字程度まで)

理事長白川勝は建設業を経営する傍ら、約30年前から里親として子どもたちを数多く受け入れており、建設業を志した子は自身が経営する建設会社に迎え入れてきました。そして平成28年4月にNPO法人として自立援助ホームを設立し、現在も若者の支援を続けています。

3. プロジェクトの目的とその背景(※応募申請書に記載のものでも可) 250文字程度まで

当ホームはシステムキッチンが備え付けられているものの、小さなグリルのみで、肉やケーキなどを作れるオーブンを持ち合わせていませんでした。そのため普段の料理のレパートリーが少なく、特別メニューは既製品の購入が多くなっているのが現状です。豊かな食事体験であれば、外食も一つの方法ですが、当ホームの入居児童は16～20歳の男子児童であり、職員と一緒にでかけることを好みません。作る過程で生じる、香り、音を含めた豊かな食事提供をホーム内でしていきたいと考えています。

4. プロジェクトの内容(※当初予定と変更がない場合は、応募申請書に記載のものでも可) 300文字程度まで

スチームオーブンレンジ パナソニックビストロ NE-BS9Aの購入をさせていただきました。

・スペアリブやタンドリーチキン、ローストビーフなどあらゆる料理がこれ一台ででき、幅広のためケーキも焼けて、いちどに12個のロールパンを焼くことも可能とのことです

・一度に2皿以上の温め機能付きで、大人数で使うのにも役立ちます。

5. プロジェクトの実施で得られた「結果」(OUTPUT。実施回数や参加者数など)、「成果」(OUTCOME。事業によって生まれた直接的な変化)、「社会的な変化」(IMPACT。事業が社会に与えた影響)などの『効果』 300文字程度まで

まず手始めに手作りクッキーを実践。甘い香りが施設いっぱいに広がりました。職員が珍しいものを作っていると、入居の児童が、「自分はカルボナーラを作つてみたい！」とキッチンに立ち、自炊を始めるきっかけにもなりました。「職員さんもどうぞ」と初めて手料理をふるまってくれ、児童のうれしい変化に職員も驚きました。職員も次は何を作ろうかな、と普段単調になりがちな食事作りも楽しみのひとつになっています。

6. プロジェクト実施にあたっての課題、今後の展望など 300文字まで

食事作りに対するモチベーションが上がるのは間違いないのですが、食事を食べた子どもたちがどう感じているか、どんな表情をしたかなど、こどもの変化を感じ取るきっかけづくりになればと思っています。年頃の男の子なので素直に言葉で、表情で、表してくれる子が少なく、コミュニケーション作りが常に課題ではありますが、オーブンを通じて何か一つでも会話が弾めばいいなと考えています。

7. 参考資料:プロジェクトで作成したチラシ、パンフレットやマスコミで紹介された記事等の現物またはコピー、活動状況の写真などを、必ず、別途、ご提供ください。

